

## 第5回千葉県誕生150周年記念事業官民連携会議

日時：令和6年10月24日（木）

午後3時～午後3時40分

場所：オークラ千葉ホテル 3階 エリーゼ

### 1 開会

### 2 挨拶（熊谷知事）

委員の皆様方には、御多忙のところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

昨年6月から1年間にわたって実施してきた千葉県誕生150周年記念事業も今年6月に開催しましたフィナーレイベントをもって無事に終了することができました。

フィナーレイベントでも広報、また当日のビーチクリーン、手つなぎイベントへの御参加、また勝浦市でのグランドフィナーレへの出展など、様々な形で皆様方には御協力を賜りました。約2年間にわたって記念事業に御協力いただいたことに、県を代表して心から感謝を申し上げたいと思います。

皆様方からの御協力もありまして、記念事業全体を通じた来場者は230万人を超え、経済波及効果としても、県全体に約171億円もの効果をもたらすことができ、地域経済の活性化に資するものとなったと考えております。

元々の目的の一つが新型コロナウイルスの中で、県民の皆様方が県内で移動する機会が大きく減ったことを受けて、文化に光を当てるとともに、県内を移動していただくきっかけにもしていくということがございましたので、そうした目的も少なくとも一定程度は果たすことができたのかなと思っております。

また、大型商業施設同士の企業間連携で実現しました「コラボキャンペーン」であったり、また県内高校と企業が連携した製品の開発など、この150周年記念事業をきっかけに、これまでになかった取組も生まれてまいりました。今後は記念事業を通じて生まれた新たな取組、また皆様との連携をどのように次に違う形で未来に継承していくかが我々にとって重要だと考えております。

この会議も今回で最後となります。委員の皆様方におかれましては、記念事業を通じてお感じになられたことなど、忌憚のない御意見を賜りまして、今後の官民連携につながる契機としたいと考えております。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

### 3 議事（事務局説明）

事務局、文化振興課長の石島でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

## (1) 千葉県誕生150周年記念事業の取組結果について（経済波及効果等）

（千葉県誕生150周年の取組について）

2ページ「千葉県誕生150周年記念事業の取組について」を御覧ください。

これまでも申し上げているところではございますが、事業の総括ということで、改めて御説明いたします。県では、令和5年6月に迎えた千葉県誕生150周年を県民の郷土への愛着や誇りを一層高めると

もに、県内外から人を呼び込む絶好の機会と捉え、県だけでなく、市町村、民間企業・団体の皆様と共に1年間にわたり県内全域で事業を展開してまいりました。

まず、県庁内では、150周年記念事業の推進体制として「推進本部会議」及び「庁内連絡会議」の2つの会議を設置し、全庁的に取り組んできました。

市町村については、全市町村が県の補助金を活用し、合計92事業を実施いただき、うち8事業については、内房総アートフェスや山武地域のビーチドッグフェスティバル、東葛飾地域のデジタルスタンプラリーなど、市町村の域を越えた広域での実施となっております。

また、本日皆様に御出席いただいております「官民連携会議」につきましても、互いに取組の方向性を共有し、連携した取組を行う組織として令和4年に設置し、今回を含めて計5回の会議を通じ、大変貴重な御意見を賜りました。改めて御礼申し上げます。

そのほか、民間企業や団体の皆様にも事業の推進に協力いただき、385の企業・団体に「ちば150周年記念事業パートナー」として登録いただくとともに、記念のロゴマークを活用し、150周年を盛り上げていただきました。

（東京ディズニーシー新テーマポート「ファンタジースプリングス」プレビューへの県内小学生の招待について）

続いて、スクリーンを御覧ください。

前回4月に開催した官民連携会議以降に実施した事業の御報告になりますが、オリエンタルランドとの連携事業の一つとして、本年6月にオープンした東京ディズニーシーの新テーマポートで「ファンタジースプリングス」のオープン前のプレビューとして、5月の3日間に県内の小学6年生約6,000名を御招待いただきました。県内の小学校からたくさんの応募があり、県において抽選を行い、招待校を決定しました。当日は、たくさんの子供たちの笑顔が溢れており、参加した子供たちには一生の思い出になったのではないかと思います。

（千葉県誕生150周年記念事業フィナーレイベントについて）

続きまして資料の3ページを御覧ください。「千葉県誕生150周年記念事業フィナーレイベント」について、御説明させていただきます。

本年6月15日と16日の二日間にわたり、記念事業の締めくくりとしてフィナー

イベントを実施しました。

まず、県民の日である6月15日午前中は、千葉県を象徴する九十九里浜において、ビーチクリーンと人文字づくりを行いました。こちらには約2,500名が参加し、ビーチクリーンでのごみ処理量は8.5m<sup>3</sup>となりました。

また、九十九里有料道路上では、手をつなぐイベントを実施し、ギネス世界記録「手首をつないだ人の最も長い列」の更新に挑戦しました。当日は記録を超える4,554名の方々に御参加いただきましたが、一部で参加者の手が離れてしまった時間があり、残念ながら記録更新とはなりませんでした。当日は、佐久間議長をはじめ千葉銀行様、イオン環境財団様、イトーヨーカドー様、JR東日本千葉支社様からも暑い中、100名を超える参加をいただきました。ありがとうございました。

参加者からは、「いつ再チャレンジするのか」「記念になった」「みんなで手をつないだ一体感があった」など肯定的な感想が寄せられました。4ページには当日の様子を掲載しておりますので、後ほど御覧いただければと思います。

続いて5ページを御覧ください。15日午後は、勝浦漁業協同組合及び新勝浦市漁業協同組合に御協力をいただき、勝浦湾で150周年記念の大漁旗を掲げた漁船パレードを実施し、勝浦湾の様々な場所から多くの方に観覧いただきました。

続いて6ページでございます。翌16日には、勝浦市芸術文化交流センターKüsteにおいて、グランドフィナーレとして、ホール内で万祝フェスタ等のステージイベントや、屋外で伝統行事「鵜原の大名行列」の披露、出張かつうら朝市などを実施し、約6,600名の方が来場しました。

当日の様子を9ページまで写真にて御紹介しておりますので、こちらも後ほど御覧いただければと思います。

また、ホールイベントの最後に市立習志野高校吹奏楽部と150周年記念事業総合プロデューサーの小林武史さんのピアノによる共演が行われました。小林さん作曲の「to U」という楽曲を小林さんがこのステージのために吹奏楽用に編曲し、吹奏楽部の生徒が演奏するとともに、歌も歌っています。本日は当日の演奏の音源と、演奏の際に会場で放映した記念事業の紹介映像を御用意しましたので、御覧ください。

(※映像放映)

2日間を通じまして、イベントへの参加や、広報、会場へのブース出展等、皆様には様々な御協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。

(千葉県誕生150周年記念事業の経済波及効果について)

続きまして10ページを御覧ください。「千葉県誕生150周年記念事業の経済波及効果」について、御説明させていただきます。

1年間にわたり実施してきた記念事業の経済波及効果を算出したところ、県内への

経済波及効果は約171億円となりました。これは県で実施したパレードやフィナーレイベント等の記念事業に加え、県が補助金を交付し、市町村に実施していただいた記念事業の来場者数、事業費を基に算出しております。

来場者数は合計で約230万人、来場者消費額は約173億円となっております。

来場者消費額は、実際に現地で記念事業の参加者にアンケートを実施し、その回答から得られた来場者1人あたりの消費単価を基に算出しております。

事業費は、県と市町村を合わせて約21億8,500万円で、事業費に対する経済波及効果は約7.8倍となりました。

この事業費のうち市町村分は補助金の実績額から積み上げ、県の事業費は当課で直接実施した記念事業、県立博物館・美術館で150周年記念事業として開催した特別展、企画展を対象にしております。

なお、県から市町村に交付した補助金は、事業費額の二重計上とならないよう、県事業費からは除いて算出しております。

11ページでは、主なイベント会場で実施した来場者アンケートの結果を掲載しております。全体の満足度は95%の方から満足したとの回答をいただいております。項目別に見ますと、「現地スタッフの対応」、「イベントの内容」、「食事のおいしさ・楽しさ」の順に高い満足度をいただいております。

12ページでございますが、記念事業終了後、1都4県を対象に今年7月から8月に実施したWEBアンケートの結果を掲載しております。イベントの開催効果について、「地域の魅力を発見することで郷土への誇りを高め、県民の千葉への愛着を高める」、「県内外の交流人口増加による経済効果の活性化」など、4つの項目を尋ねたところ、いずれの項目においても約7割の方から効果があるとの回答をいただいております。経済波及効果の金額以外にも一定の効果があったものと考えております。

#### (千葉県誕生150周年記念事業・取組の成果について)

続きまして13ページを御覧ください。今回の記念事業の成果ですが、様々な取組を通じて県の魅力を県内外の方々にアピールでき、県内外の人が千葉を巡り、千葉の魅力を再認識していただいたことで、結果として県全体の経済の活性化にも寄与することができたと考えております。

また、多くの企業・団体等に記念事業に参画いただいたことで、千葉県誕生150周年を多くの人に知っていただけただけでなく、これまでにない新たな連携の枠組みが生まれたことなど、様々な成果を得ることができたと考えております。

この成果を一過性のものとせず、未来に引き継いでいけるよう、引き続き取り組んでいくことが重要だと考えております。

(千葉県誕生 150 周年記念事業終了後の取組について)

続きまして 15 ページを御覧ください。

ここまで御説明しました記念事業の成果を引き継いでいくため、県では本県の文化的魅力の発信につながる事業に対する新たな補助金を創設しました。

150 周年記念事業では、市町村に対する補助のみでしたが、民間企業・団体が対象となる補助金もございます。今後 2 次募集を行う予定ですので、皆様におかれましても活用を検討いただくとともに、関係団体への周知に御協力いただけますと幸いです。

17 ページ以降では、150 周年記念事業の取組結果について、掲載をさせていただいておりますので、お目通しいただければ幸いです。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

#### 【質疑応答】

議長 それでは、議題に関する御質問、御意見、また、全体を通じての御質問、御発言がある方はいらっしゃいましたら、お願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

いらっしゃらないようですので、私の方から指名させていただきます。よろしく願いいたします。

委員 150 周年、本当におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。私どもとしても、できる限りこれからもこれを機会に県と私どもの会社でコラボは続けていきたいと思っております。また新しい提案をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。本当におめでとうございます。

議長 ありがとうございます。続いて、お願いいたします。

委員 フィナーレイブメントの PR については、前回会議で質問させていただき、今年 6 月 12 日夕方の「首都圏ネットワーク」の中で放送させていただいて、「花ラジちば」という県域のラジオ番組でも紹介させていただきました。ありがとうございました。

私からこの 150 周年記念事業の感想と意見を簡単に申し上げさせていただきます。本当に素晴らしいイベントだったなど、1 年間という非常に長い間に、先ほどの映像のとおり、様々なことをやられていて、千葉県の実力、魅力をすごく感じる 1 年間だったと思っております。

最初の目的（説明）にあった「県民の郷土への愛着と誇り」という所が非常に重要なことだと思っております。マスコミが地域の魅力を県内外に発信していく重要性を改めて感じた機会でもございました。

世の中で言うと、コロナ禍が明けた後で、地域の伝統文化や伝統芸能がコロナ期間中にお休みされたり、途絶えてしまったりということで、後継者がいなくなったり、引き継ぐ人がいなかったりということで、今もなお再開できないようなイベント、事業、伝統文化があると聞いています。この150周年記念事業がちょうどコロナ禍が明けて、色んな事が対面でできるようになった後ということも非常に効果が高かったのだらうと思いますけれども、先ほどの説明にもありましたとおり、一過性で終わらずに、県民の皆さん、そして県外の方々がもっと千葉県の魅力を感じてもらえるように、次につながっていくと良いな、と感じました。こうした取組をしっかりと全国、世界に放送でお届けしていきたいと思います。

議長 ありがとうございます。続いて、お願いいたします。

委員 この事業に委員として参画させていただきまして、また各イベントにも参加させていただき、冒頭、知事がおっしゃられた「記念事業をきっかけに生まれた連携」というのを実感したところでございます。また改めまして千葉の良さをたくさん知ることもできました。今後もこの資源と新たな価値を広域にわたる連携のもと、県内外からの流動活性化に資する取組について、継続して取り組んでまいります。

また、館山の記念パレードのお話をいただきましたが、弊社も当日は新宿からの往復の臨時特急を運転いたしました。内房線、外房線で一部列車の時刻を変更、編成両数の変更を行わせていただきました。当日の館山駅の自動改札の出場者数で約2万人のお客様に御利用いただけました。パレード自体は7万2千人のお客様が御覧になられたということで御報告いただいているかと思っておりますけれども、千葉県の良さを知って、また館山まで足を運んでいただくお客様の一助を担えたというところには非常にありがたく思っているところでございます。

また、弊社は宣伝展開といったところでも、各駅172か所にポスターの掲出や機運醸成といったところの連携をさせていただいたところでございます。色々な活動を通じまして、本当に新たな連携を生み出すこともできておりますので、引き続き、本日御出席の委員の皆様には弊社の事業に多大なる御理解と御支援をいただいているところではございますが、皆様のお力を借りながら、先ほどの御説明にもありましたとおり、この取組が一過性のものにならないようにしっかりと未来につなげていくといったところに取り組んでまいり所存でございます。

議長 ありがとうございます。続いて、お願いいたします。

委員 私からはフィナーレイベントでのブース出展、勝浦湾で行われました漁船パレードについての報告と若干の感想を述べさせていただきます。

まずブース出展についてですが、御来場の皆様に対し、県から認定を受けております「千葉ブランド水産物」を中心に紹介と販売をさせていただきました。江戸前の焼き海苔や、千葉県の代表魚種であるイワシを使った伝統的な加工品、また千葉県の重要魚種の一つでありますキンメダイの加工品等を紹介し、御来場の皆様に大変御好評をいただきました。

次に勝浦湾で行われました漁船パレードについてです。勝浦での漁船パレードについては、平成4年に勝浦市の守屋海岸で開催されました「全国豊かな海づくり大会」においても当時企画されていたものですが、当日は台風の影響によりまして、残念ながらパレードできなかつたという経緯がございます。今回の150周年記念事業フィナーレイベントでは、当時と比べまして規模は多少小さいものになりましたけれども、無事にパレードを行うことができました、実際にパレードに参加された漁船乗組員の皆さんも大変誇らしく感じたという声を聞いております。また、御観覧いただきました皆様にも勇壮な漁船の姿を見ていただきまして、改めて千葉県の海、また千葉県で獲れる美味しい魚に対する認識、また千葉県の海への愛着のようなものを感じていただけたのではないかとこのように考えております。

議長 ありがとうございます。続いて、お願いいたします。

委員 当社としまして、いくつかキャンペーン等を実施させていただきました。150周年という節目のイベントに参画し、他社連携の形で実施できたことは、非常に貴重な経験、財産になったと考えてございます。

具体的な実施内容としまして、Instagramを用いた投稿キャンペーンでは「#ENJOY 千葉150」、こちらを千葉トヨタ株式会社様と実施しました。SNSを使ってのキャンペーンということで、SNSを展開した方がそれを見て、またそれを広げてということで、非常に広がりが見えたキャンペーンを実施できたと思っております。当キャンペーンの賞品は、全て応募達成という形で全配布終了してございます。

また、鉄道の1日乗車券につきましては、当社のみならず新京成電鉄様、北総鉄道様、芝山鉄道様、小湊鐵道様と実施をさせていただきました。発行した1,500部につきましては、3日で完売という報告を受けております。実際に使ったという方もいれば、記念にするというお声もいただいております。ポストカードをあしらった企画でございましたので、鉄道マニアの方を中心に使わずに大切にするというお声もあり、150周年記念に資することができたと考えております。

この先の未来について、地域連携若しくは官民連携というところが今後当社としても重要な施策と考えてございます。こちらをきっかけに引き続き千葉を盛り上げるために、当社のみならず千葉県全体で発展できることに資するよう頑張っております。

いきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

議長 ありがとうございます。続いて、お願いいたします。

委員 私からも感想を述べさせていただきます。その前に知事から御説明がありましたように230万人の多くの県民の方たちに御参加いただいたようです。今回の記念事業には御都合で御参加をいただけなかった方も含めて、千葉県民の全ての皆様に改めて150周年を迎えられましたことに「おめでとうございます」とお祝いをお伝えしたいと思います。また、今日お集まりの企業の皆様、市町村の皆様、この記念事業を支えていただきました事務局の皆様、本当に御苦労様でした。大変長い、そして暑い夏だったように思います。何事も無く、無事過ごしていただけたことに改めてお礼を申し上げます。

私からは、二つだけ感想を申し上げたいと思います。一つは、千葉の文化や芸術を活かした、このような事業を通して人々が出会うという文化芸術の「肝要さ」を大変感じました。それを通して仲間になったり、地域のコミュニティができたり、そういう千葉県になっていただきたいと思いました。

もう一つは最後の手つなぎイベント。あの暑い中であんなにたくさんの方に集まっていたいただきました。本当は記録ということもあったかもしれませんが、少なくとも参加していただいた方たちの中には「記録」ではなく、「記憶」として大きく残ったんじゃないかなと思います。この記憶を151周年記念、152周年記念と続けていければいいんですが、そこは少し難しいかもしれません。例えば200周年記念事業ということがあるかもしれません。残念ながら、200周年記念事業にお付き合いいただける方は、この中ではちょっと少ないかもしれませんが、是非そこに「記憶」をつないでいただく、それが千葉という地域を引き継いでいく大きな礎になるんじゃないかなと思いました。とにかく皆様、大変御苦労様でした。ありがとうございます。

最後にこの5回の会議を支えていただきました佐久間議長の方からも感想をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

議長 まずは150周年記念事業に携わって来られました多くの皆様方に感謝を申し上げたいと思います。熊谷知事のリーダーシップのもとで官民協力して、県内各地でイベントが行われました。多大な経済効果に加えまして、参画した関係者も含め、多くの県民の皆様は郷土千葉の素晴らしさを体感していただいたものと思います。私自身、今お話がございましたフィナーレイベントで行われました手つなぎイベントに参加いたしまして、九十九里浜の雄大な自然を満喫して、永く良い思い出になるものと思います。参加された皆様方も同じ思いだったと思います。これを財産にして、千葉県一致して今後の経済発展、あるいは文化の発展に協力



していきたいというふうに思います。皆様方、大変御苦勞様でございました。

#### 4 コメント（熊谷知事）

改めて皆様方からの御意見や御感想をいただきまして、ありがとうございます。

今回の150周年記念事業は、企業、団体、市町村を含めて官民に関わらず、本当に多くの方々に御協力をいただかなければ成り立たない、そうしたイベントだったと思っております。

文化資産にも十分に注目がいきましてし、また人々にとって、こうした伝統であったり、魅力に目を向けるまたとない機会であったと思っております。

この150周年記念事業は、千葉県庁の中で言えば文化振興課を中心に進めてまいりましたけれども、御指摘、感想等でいただいたとおり、この後は県庁全部署として、今回の絆であったり、御縁、連携事業をいかに続けたり、広げていくかということが問われてくると思っております。

これからも県として様々な形で官民が一体となって、一つのターゲットポイントに向かって千葉県の総力を結集できるような機会を適宜つくってまいりたいと考えておりますので、その際にはまた違った形で御支援、御協力を賜れば幸いです。

改めて、これまでの長い期間の御協力に心から感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

#### 5 閉会